# Kansai Economic Insight Monthly 2016/7/26 Vol.39 June/July

- APIR " Kansai Economic Insight Monthly"は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。
- ・レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。
- ・執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、 APIR 数量経済分析センター長)、林万 平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet(各 APIR 研究員)です。
- ・本編内の中国景気モニターは、APIR 中 国経済分析のプロジェクトによるもの であり、関西経済分析と連動して定期的 に発信します。
- ・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

## 要旨

## -雇用は好調も、厳しさを増す消費動向-

- ✓ 5月の鉱工業生産指数は2カ月連続の前月比マイナス。生産は 依然停滞基調である。
- ✓ 6月の輸出は9カ月連続の前年比マイナス。輸入は10カ月連続の同マイナス。結果、貿易収支は5カ月連続の黒字。資源価格・ 為替レートも変動しており、今後貿易黒字の持続性について は、注意が必要である。
- ✓ 6月の消費者態度指数は消費増税が延期されたこともあり、2 カ月連続の改善。一方、関西の景気ウォッチャー現状判断 DI は2カ月連続の悪化。英国のEU離脱への不安やインバウンド関 連の減速から、先行き判断 DIも2カ月連続の悪化。
- ✓ 4月の「関西コア」賃金指数は3カ月連続で上昇したものの、 伸びは小幅にとどまっている。
- ✓ 5月の大型小売店の販売額は3カ月連続の前年比マイナスとなり、減少幅は前月より拡大。百貨店、スーパーとも伸びが前年比マイナスとなったのは消費増税による反動減の影響が見られた2015年3月を除けば、2014年6月以来およそ2年ぶり。
- ✓ 5月の新設住宅着工戸数は5カ月連続の前年比プラス。うち、 持家、貸家は2桁増となった。6月のマンション契約率は3カ 月ぶりに70%台を上回った。
- ✓ 5月の有効求人倍率は、4カ月連続の上昇。新規求人倍率も2カ 月連続の上昇。完全失業率は4カ月ぶりの改善となり、雇用情 勢は好調を維持。
- ✓ 6月の公共工事請負金額は2カ月連続の前年比マイナス、季節調整値でみれば、2カ月ぶりのプラス。結果、4-6月期は前期比+28.4%増加した。
- ✓ 6月の関空への訪日外客数は51万2,100人で41カ月連続のプラスであった。
- ✓ 中国4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.7%となり、前期から横ばい。依然として成長減速トレンドにある。一方、 リコノミクス指数は6カ月連続で前年比上昇しており、中国経済に底打ちの兆しが見られるものの、引き続き注意が必要。

## 【関西経済のトレンド】

	2015年									201	16年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産		$\Rightarrow$	$\triangle$	$\Box$		$\triangle$	$\triangle$	$\Box$	<b>☆</b>	$\overline{\Diamond}$	$\triangle$	$\triangle$	
貿易						$\Rightarrow$		<b>\rightarrow</b>				$\Rightarrow$	
センチメント		$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\Rightarrow$	$\triangle$		$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$		$\Rightarrow$	$\triangle$
消費	<b>\rightarrow</b>					$\Rightarrow$	$\Rightarrow$			$\Rightarrow$	$\Rightarrow$	$\triangle$	
住宅		$\Rightarrow$	$\Rightarrow$	$\Rightarrow$		$\Rightarrow$	$\triangle$					$\Rightarrow$	
雇用	$\Rightarrow$				$\Rightarrow$			<b>\( \)</b>					
公共工事		$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$		$\Rightarrow$	$\triangle$	<b>₩</b>		<b>A</b>	<b>\rightarrow</b>	$\triangle$
中国			$\triangle$	$\Rightarrow$	$\Rightarrow$		$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\Rightarrow$	$\Rightarrow$	$\Rightarrow$	$\Rightarrow$

## 【鉱工業生産動向】

## (1) 関西の生産動向

2016年5月の鉱工業指数(速報値:季節調整済, 2010年 =100)を見ると、生産は103.3 で前月比-0.8%と2カ月連続の下落。出荷は101.2 で同-0.6%と3カ月ぶりの下落。 在庫は121.7 で同+1.2%と4カ月連続の増加となった。なお、5月の実質輸出は前月比マイナスだった。

業種別に生産指数をみると、金属製品(同-13.1%, 2 カ月連続)、電子部品・デバイス(同-8.1%, 2 カ月ぶり)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同-9.8%, 3 カ月ぶり)等が減産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同+5.7%, 2 カ月ぶり)、化学(除. 医薬品)(同+8.6%, 2 カ月ぶり)、プラスチック製品(同+3.0%, 2 カ月連続)等が増産となった。

4-5 月平均の生産を 1-3 月平均と比較すれば+1.4%の伸びであるが、足下、生産は2カ月連続の下落となり、依然停滞基調である。

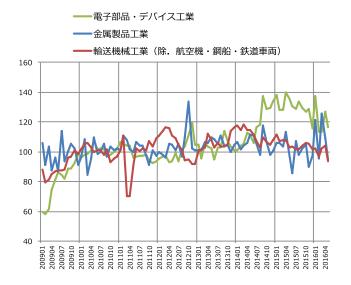
鉱工業指数の推移(関西:2016年5月まで、2010年=100)



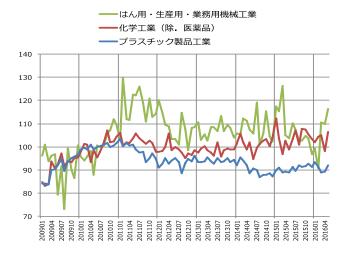
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西:2016年5月まで、平成22年=100)



#### 業種別生産指数の推移(続き)



## (注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

#### (2) 全国の生産動向

全国における 5 月の鉱工業指数 (確報値:季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は94.7 となり前月比-2.6%、 出荷は93.5で同-2.6%といずれも3カ月ぶりの下落。在庫は113.9で同+0.4%と2カ月ぶりの上昇となった。

業種別にみると、化学(同-6.1%)、はん用・生産用・業務 用機械(同-2.6%)、食料品・たばこ(同-4.5%)等を中心に減 産となった。一方、輸送機械(同+0.8%)、情報通信機械(同 +4.3%)、石油・石炭製品(同+3.4%)は増産となった。 製造工業生産予測調査によれば、6月は同+1.7%、7月は同+1.3%と、今後は増産が続く見込みとなっている。

鉱工業指数の推移(全国:2016年5月まで、2010年=100)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

#### 【貿易動向】

## (1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、6月関西の貿易収支は+2,236 億円と5カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+67.0%拡大した。全国の貿易収支(速報値)は+6,928億円と2カ月ぶりの黒字となり、貿易収支は前年同月から7,537億円改善した。

全国、関西とも、輸出入の前年比減少が続いているが、資源価格の低下による輸入減が大きかったこともあり、結果として貿易収支は黒字となった。なお、黒字の持続性については、注意が必要である。

関西・全国の貿易収支の推移: (百万円, 2016年6月まで)



(出所) 大阪税類調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

## (2)輸出

関西 6 月の輸出額(速報値)は1兆2,818 億円。前年同月 比-7.3%減少し、9 カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、 科学光学機器の輸出が減少した。

全国 6 月の輸出額(速報値)は 6 兆 255 億円、前年同月比-7.4%と 9 カ月連続の減少。財別に見れば、自動車、鉄鋼、有機化合物の輸出が減少。

なお、同月の為替レート(税関長公示レートベース)は 108.48 円と前年同月比+11.8%の円高となった。

関西・全国の輸出の推移(百万円,前年同月比,2016年6月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

### (3)輸入

関西 6 月の輸入額(速報値)は1兆582億円、伸びは前年 同月比-15.3%と10カ月連続の減少。財別に見れば、天然 ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品が減少した。

全国 6 月の輸入額(速報値)は 5 兆 3,326 億円、前年同月 比-18.8%と 18 カ月連続の減少。財別に見れば、原粗油、 液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少している。

資源価格は引き続き前年比大幅下落傾向にあるものの、下 落幅は縮小しており、注意が必要である。

## (4) 関西の地域別貿易

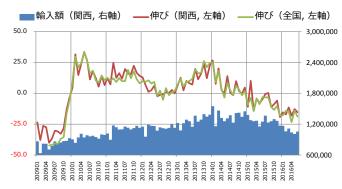
関西6月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支 は+2,372億円と5カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年 同月比+8.4%拡大した。輸出は8カ月連続の減少(同-8.4%)。 財別に見れば、科学光学機器、鉄鋼等が減少した。一方、輸入は10カ月連続の減少(同-13.4%)。財別に見ると、天然ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品等が減少した。

うち、対中貿易収支は-580 億円と 52 カ月連続の赤字も、 赤字幅は前年同月から縮小した(同-17.3%)。輸出は 4 カ月 連続の減少(同-6.7%)。輸入は 3 カ月連続の減少(同-8.6%) となった。

対米貿易収支は+850 億円と黒字基調が続いており、黒字幅は3カ月ぶりに前年から拡大(同+7.9%)。うち、輸出は8カ月連続のマイナス(同-9.6%)。財別に見れば、鉱物性燃料、半導体等電子部品等が減少した。輸入も5カ月連続の減少(同-22.5%)。財別に見れば、半導体等製造装置、石油製品等が減少となった。

対 EU 貿易収支は+82 億円と2カ月ぶりの黒字となり、貿易収支は前年同月から194 億円改善した。輸出は9カ月連続の減少(同-0.0%)。財別に見れば、通信機、プラスチック等が減少した。輸入は4カ月連続の減少(同-14.1%)。財別に見れば、半導体等製造装置、有機化合物等が減少となった。

関西・全国の輸入の推移(百万円,前年同月比,2016年6月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

#### 【消費者センチメント】

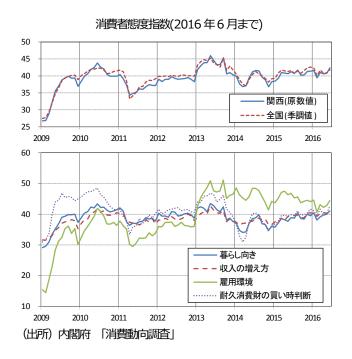
## (1) 消費者態度指数の動向

関西の 6 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+1.6 ポイントの 42.4 で、2 カ月連続の改善。全国(季節調整値)は同+0.9 ポイントの41.8 とこちらも 2 カ月連続で改善した。

4 つの指標構成項目のうち、全国ではすべての指標で前月から改善しており、「雇用環境」や、消費増税の再延期により、「暮らし向き」や「耐久消費財の買い時判断」が上昇している。なお、内閣府は消費者心理の基調判断を「足踏みがみられる」として4カ月連続で据え置いている。

関西の同指数構成項目をみると、全国と同様、4指標すべてで前月から改善した。「耐久消費財の買い時判断」が同+2.5ポイント、「雇用環境」は同+1.6ポイント(いずれも2カ月連続)、「収入の増え方」が同+1.4ポイント(2カ月ぶり)、

「暮らし向き」が同+1.0 ポイント(4カ月連続)それぞれ改善した。好調な雇用環境と消費増税の延期によって暮らし向きへの不安がやわらいだこともあって、消費者心理は改善している。



#### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

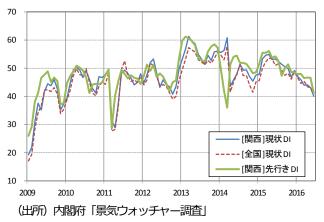
関西の6月の現状判断 DI は40.1 となり前月比-3.0 ポイント下落し、2 カ月連続の悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を9カ月連続で下回った。全国では同-1.8 ポイント低下し41.2 となり、3カ月連続の悪化。

悪化した背景として、調査時期が6月25日から月末であったため、英国の国民投票(6月24日)でEU 離脱が決まった

ことへの影響が大きかったとみられる。また、関西では百貨店やホテルなどでインバウンド関連消費が減速している。結果、全国よりも大きな下落となったと考えられる。加えて、 神士・婦人服や雑貨・お中元といった季節商品の販売不振などが悪化に寄与した。

また、先行き判断 DI は、関西では41.1 と前月比-5.5 ポイント大幅下落し、2 カ月連続の悪化。一方、全国は41.5 と同-5.8 ポイント下落し、2 カ月ぶりの悪化。英国の EU 離脱による悪影響への懸念と、金融市場で再び円高・株安が進んだことが先行き見通しを大きく押し下げた。関西でも、先述したインバウンド消費の減速が先行き悪化に寄与した。

## 景気ウォッチャー調査(2016年6月まで)



## 「所得・個人消費・住宅」

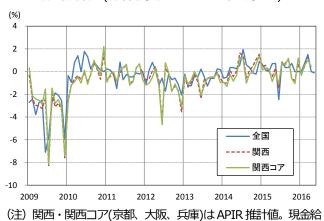
#### (1) 現金給与総額

京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は4月に前年同月比+0.4%と3カ月連続で上昇したものの、賃金の伸びは小幅にとどまっている。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、5月は前年同月比-0.1%と、11か月ぶりの小幅下落であった。内訳をみると、所定内給与は同-0.2%と4カ月ぶりのマイナス。所定外給与は同+0.5%と4カ月連続のプラス。特別給与は同+1.5%と2カ月ぶりのプラス。特別給与が速報値からプラスに転じたことで、賃金総額の伸び率が上方修正されてい

る。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.4%と4カ月連続の上昇となった。実質賃金は上昇しているが、依然として小幅であり、消費を拡大させるだけの力強さはない。

現金給与総額(前年同月比:%、2016年5月まで)



与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

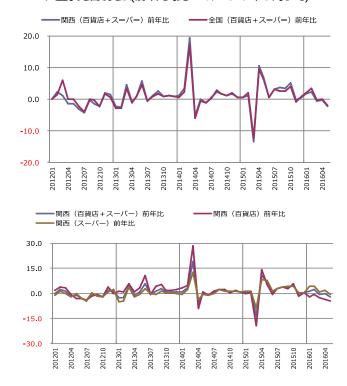
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

## (2) 大型小壳店販売額

関西 5 月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-2.3%の減少と3カ月連続のマイナスとなり、減少幅は前月(同-0.3%)より拡大した。百貨店は同-4.6%減少し(前月-3.4%)、5カ月連続のマイナス。スーパーは同-0.7%(前月+1.6%)と14カ月ぶりのマイナスとなった。

全国 5 月の大型小売店販売額(全店ベース)は前年同月比 -1.9%(前月-0.1%)と 3 カ月連続のマイナスとなっている。 関西の大型小売店販売額の伸びが、百貨店、スーパーと も前年同月比マイナスとなったのは、消費増税による反動 減の影響が見られた 2015 年 3 月を除けば、2014 年 6 月 以来およそ 2 年ぶりのことである。

## 大型小売店販売額(前年同月比:%、2016年5月まで)



(注) 福井県を含む。 (出所) 経済産業省「商業動態統計」

## (3) 新設住宅着工の動向

関西 5 月の新設住宅着工戸数は 10,682 戸。前年同月比 +2.6%のプラスとなり、5 カ月連続の増加。全国は 78,728 戸と同+9.8%増加し、5 カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,935 戸。 前年同月比+19.7%と5カ月連続のプラス。貸家は4,366 戸、同+14.5%と2カ月連続のプラス。分譲は3,326 戸、 同-18.6%大幅減少し、6カ月ぶりのマイナス。

6月の関西マンション契約率は70.4%(季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安となる70%を3カ月ぶりに上回った。 首都圏は67.3%(季節調整値、APIR推計)と2カ月ぶりに 70%を下回った。

## 新設住宅着工(前年同月比:%、2016年5月まで)





(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

## 【雇用動向】

## (1) 求人倍率の動向

5月の関西の有効求人倍率は、1.27倍で前月比+0.01ポイントと4カ月連続の上昇。1974年8月(1.26倍)を上回る高水準が続く。ただし、同月の求職者数は同-0.7%と3カ月連続で減少しており、これが幾分求人倍率を押し上げている。5月の全国は1.36倍で前月比+0.02ポイントと3カ月連続の小幅上昇。雇用情勢は引き続き好調である。

府県別にみると、京都府と和歌山県が前月比+0.03 ポイント、次に兵庫県が同+0.02 ポイント、奈良県が同+0.01 ポイントそれぞれ上昇。一方、大阪府は同横ばい。滋賀県は同-0.01 ポイント下落した。

5 月の関西の新規求人倍率は、2.03 倍で前月比+0.01 ポイントと2カ月連続の上昇。2カ月連続で2倍を超えた。全国は2.09 倍と同+0.03 ポイント上昇した。

5月の関西の産業別新規求人数をみると、宿泊業・飲食サービス業で11カ月連続の2桁増等、建設業を除く全ての業種で増加していた。

#### 求人倍率の推移(季節調整値、2016年5月まで)



関西2府4県有効求人倍率(2016年5月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
5月	1.36	1.27	1.18	1.33	1.36	1.14	1.14	1.20
4月	1.34	1.26	1.19	1.30	1.36	1.12	1.13	1.17

#### (2) 完全失業率の推移

5 月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は3.7%で前月比-0.4%ポイント下落し、4 カ月ぶりの改善。 内訳をみると前月と比べて非労働力人口が小幅増加した一方で、就業者数は横ばいであった。

関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は38.1万人で前月から-5.3万人減少。3カ月ぶりの改善となった。 全国の完全失業率(季節調整値)は3.2%と2カ月連続で前月比横ばいであった。

5月の全国の完全失業者数(季節調整値)は212万人で前月から+1万人増加。理由別にみると、新たに求職をした人が同-4万人減少した一方、非自発的な離職と自発的な離職(自己都合)がそれぞれ同+2万人増加していた。

## 完全失業率の推移(季節調整値:2016年5月まで)



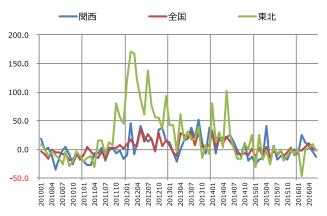
#### 【公共投資】

#### (1) 公共工事請負金額

関西 6 月の公共工事請負金額は 1,730 億円で前年同月比 -13.7%と 2 カ月連続の減少。全国は 1 兆 5,278 億円で同 -1.8%と 4 カ月ぶりの減少。東北は 2,771 億円で同-2.0% と 4 カ月ぶりのマイナス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は大幅 割加し、2 カ 月ぶりのプラス。全国は減少となり 2 カ月連続のマイナスと なった(関西:同+27.9%、全国:同-0.8%)。結果、関西 4-6 月期は前期比+28.4% 増加した。

公共工事請負金額(前年同月比:%、2016年6月まで)



(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

## (2)建設工事

関西 5 月の建設工事は4,614 億円、前年同月比-1.3%と9カ月連続で減少した。 東北は4,613 億円、 同-6.7%と 7 カ

月連続の減少。結果、全国は3兆5,534億円となり、同+0.1% と3カ月ぶりの小幅上昇。うち、全国の公共工事は1兆2,969 億円で同-6.3%と9カ月連続のマイナスとなった。全国、関 西、東北の建設工事はいずれも停滞が続いている。

建設工事(前年同月比:%、2016年5月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

## 【関空モニター】

## (1) 訪日外客数トレンド

6月の関空への訪日外客数は51万2,100人となり、前年同月比+24.5%と41カ月連続のプラスとなった。また、外国人旅客総合数(出入国含む)は99万8,730人(同+22.3%)となった。

一方、出国日本人数は23万7,680人で、伸びは同+8.6%であった。

## 訪日外客数と出国日本人数(人, 2016年6月まで)



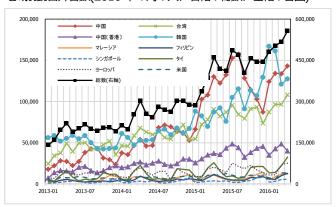
(出所) 一般則団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

## (2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、4月は中国(香港を除く)からの入国者数が14万3,093人(前年同月比+10.0%)と最も多かった。次いで、韓国が12万7,397人(同+46.2%)であった。また、台湾からは10万8,063人(同+19.5%)、中国(香港)からは3万9,963人(同+7.6%)となった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが3万2,712人(同+25.7%)、フィリピンが1万2,996人(同+11.2%)、マレーシアが1万2,069人(同+10.0%)、シンガポールが5,727人(同+50.9%)となった。他地域を見ると、ヨーロッパが2万5,365人(同+25.2%)と19カ月連続のプラス。米国からは1万3,566人(同+25.3%)と4カ月連続のプラスであった。

#### 地域115日外客数(2016年4月:人、右軸:総数、左軸:各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

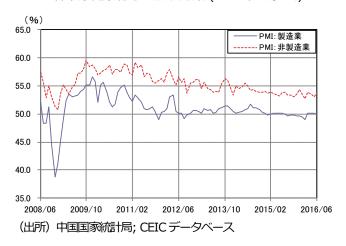
#### 【中国景気モニター】

#### (1) センチメント

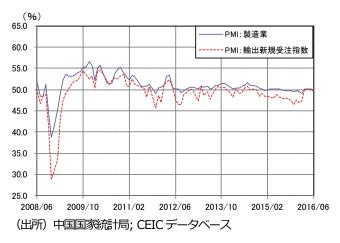
6月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は50.0 となり、前月から-0.1ポイント下落し、2カ月ぶりの悪化。一方、非製造業購買担当者景況指数は53.7 となり、前月から+0.6ポイント上昇。3か月ぶりに改善した。

製造業 PMI のうち、生産指数は 52.5 となり、前月比+0.2 ポイント上昇し、2 カ月連続のプラス。一方、輸出新規受注指数は 49.6 となり、同-0.4 ポイント下落し、3 カ月連続のマイナス。雇用指数は 47.9 となり、同-0.3 ポイント下落し、2 カ月ぶりのマイナスとなった。

#### 中国非製造業購買担当者景況指数(2016年6月まで)



## 中国製造業購買担当者景況指数(2016年6月まで)

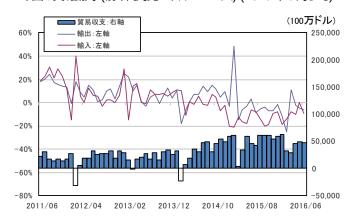


#### (2)貿易動向

6月の貿易収支は+479億ドルで、28カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月より13.7億ドル拡大した。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,801.8億ドルとなり、同-6.1%減少し、3カ月連続のマイナス。輸入額は1,322.8億ドルとなり、同-9.0%減少し、20カ月連続のマイナス。

うち、対日貿易収支は-19.6 億ドルとなり、5 カ月連続の 赤字となった。対日輸出額は105億ドルとなり、前年同月比-3.0%減少し、3 カ月連続のマイナス。一方、対日輸入額は 124.7 億ドルとなり、同横ばい。なお、円ベースでみると、 対日輸出額は同-17.3%と、3 カ月連続のマイナス。対日輸 入額は同-14.8%と、10 カ月連続のマイナス。

## 中国の貿易動向 (前年同月比:ドル・ベース) (2016年6月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

## 日本との貿易 (前年同月比: 円ベース) (2016年6月まで)

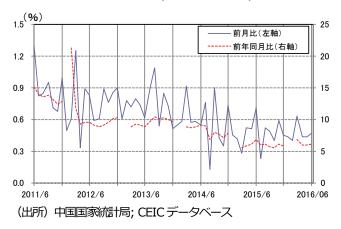


## (3)工業生産

6月の工業生産は前月比+0.47%となり、前月(+0.44%) から+0.03%ポイント上昇した。また、前年同月比では+6.2%となり、前月より+0.2%ポイント上昇した。

産業別に見ると、医薬製造業(前年同月比+11.2%)、自動車製造業(同+11.4%)、パソコン・通信設備製造業(同+10.7%)、電気機械・機材製造業(同+9.5%)などが高い伸びを示す一方で、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+1.8%)、電力・熱力生産・供給業(同+3.3%)、鉄道・輸送機器製造業(同+4.1%)などは比較的低調な伸びにとどまった。

## 工業生産指数(2016年6月まで)



## (4) 固定資産投資

1-6 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比 +9.0%となり、伸びは1-5 月期(+9.6%)から-0.6%ポイン ト下落し、3カ月連続で減速している。四半期ベースでみれ ば、4-6 月期の(累積)固定資産投資(実質)は前年同期比 +11.0%となり、伸びは1-3 月期よりも-2.8%ポイント下落 した。

産業別に見ると、第1次産業は前年同月比+21.1%、伸びは前月(同+20.6%)より+0.5%ポイント上昇し、5カ月ぶりのプラス。第2次産業は同+4.4%となり、前月(同+5.8%)から-1.4%ポイント下落し、2カ月連続のマイナス。また、第3次産業は同+11.7%となり、前月(同+11.9%)から-0.2%ポイント下落し、3カ月連続のマイナスであった。

固定資産投資(2016年6月まで)(累積申び率)



## (5)消費

6月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.6%となり、前月(同+10.0%)より伸びは+0.6%ポイント上昇し、3カ月ぶりのプラス。

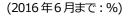
## 社会消費品小売総額成長率の推移 (2016年6月まで)

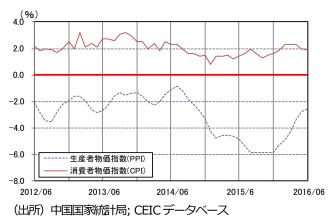


## (6)物価水準

2016年6月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.9% 上昇した。伸びは前月(同+2.0%)から幾分減速した。生産者 物価指数(PPI)は同-2.6%となり、伸びは前月(同-2.8%)よ り小幅上昇したものの、過剰生産による生産者物価への押し 下げ圧力が続いている。

## 消費者物価指数と生産者物価指数の推移

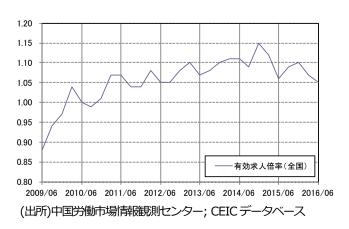




## (7) 求人倍率

4-6 月期の有効求人倍率は 1.05 となり、1-3 月期と比べると、-0.02 ポイント小幅低下した。求人倍率を地域別に見ると、東部は 1.03 (1-3 月期: 1.02)、中部は 1.11 (同: 1.11)、西部は 1.08 (同: 1.13)となっている。

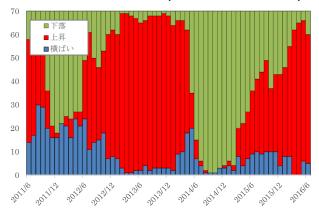
#### 有効求人倍率(2016年3-6月期まで)



## (8) 不動産市場

6月の不動産市場は先月と同様、小幅の悪化がみられる。 不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、55 都市で上昇。前月と比較すると、上昇した都市数が5都市減少した。一方、10 都市で価格が前月から下落した。また、5都市で前月と同水準となった。

#### 新築住宅価格の主要都市集計 (2015年6月まで:都市数)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース



## (9) GDP

4-6 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+6.7%となり、 前期から横ばい。

産業別に見ると、第1次産業の成長率は同+3.1%で前期 より+0.2%ポイントの上昇、第2次産業は同+6.3%で前期 より+0.5%ポイント上昇。一方、第3次産業は同+7.5%と、 前期から-0.1%ポイント小幅下落した。総じてみれば、依然 として成長減速トレンドにある。

## APIR 試算のリコノミクス指数と実質 GDP 成長率の推移 (2016年4-6月期まで:%)



## (10) リコノミクス指数

5月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+5.0% となり、伸びは前月から+0.6%ポイント改善した。内訳をみ ると、銀行中長期融資は同+15.9%、伸びは前月から+0.4% ポイント上昇。工業用電力消費量は同+2.5%、伸びは前月 から+0.1%ポイント小幅上昇。一方、鉄道輸送量は同-7.0% 減少し、伸びは前月から-2.4%ポイント悪化した。

リコノミクス指数は前年比6カ月連続で上昇しており、中 国経済に底打ちの兆しが見られるものの、引き続き注意が必 要である。

## APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016年5月まで:%)



Contact: 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

## APIR 一般財団法人 アジア太平洋研究所 ASIA PACIFIC INSTITUTE OF RESEARCH

## 【主要月次統計】

月 次 統 計	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M	16/5M	16/6M
景 況 感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1	43.1	40.1
[関西] 景気ウォッチャー調査 (現状DI、家計)	53.6		50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4	40.7	41.9	38.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計) [全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	54.2 51.0	52.6 51.6	47.3 49.3	49.9 47.5	51.4 48.2	48.7 46.1	48.5 48.7	47.9 46.6			46.7 43.5	46.6 43.0	41.1 41.2
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.4	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3	42.2	41.9	40.2
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.5		48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2		45.5		41.5
消 費 者 心 理 ・ 小 売 り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.2	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6		41.0	40.6	\$	42.4
[関西] // 暮らし向き (原数値)	38.9	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1	39.7	40.0	41.0
[関西] "収入の増え方(原数値) [関西] "雇用環境(原数値)	39.4 46.8	39.6 45.3	39.7 45.6	38.9 43.7	38.8 44.2	40.4 44.5	40.4 44.1	40.4 44.6	39.3 40.6		40.6 42.2	¢	41.6 44.4
[関西] " 雇用環境(原数値) [関西] " 耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.8		41.1		39.8	40.3	41.6	}	39.5		39.9		42.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.7	40.3	41.7		41.5	42.6	42.7	42.5	40.1		40.8	ģ	41.8
[関西]大型小売店販売額(10億円)	315.4	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	290.0	318.1	303.1	310.6	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.4	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	2.3	-0.6	-0.3	-2.3	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,641.2	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	1,488.6	1,646.0	1,545.8	1,597.9	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	3.2	-0.2	-0.1	-1.9	UN
住宅・建設	44.220	40.040	40 400	44.007	40.070	44.077	44.004	40.504	44.004	44.040	42.050	40.000	LIN
[関西]新設住宅着工(戸数) [関西]新設住宅着工(前年同月比%)	14,330 19.2	10,210 1.7	12,490 -2.1	11,697 -0.1	12,872 19.0	11,877 -2.6	11,024 -5.2	10,581 10.2	11,081 23.1	11,846 9.4	13,050 32.9	(····	UN UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	88,118	78,263	-2.1 80,255	77,872	77,153	79,697	-5.2 75,452	67,815	72,831	75,744	82,398	78,728	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	16.3		8.8	2.6	-2.5	1.7	-1.3	0.2			-1.3		-1.3
[関西]マンション契約率(季節調整値)	71.8	i ;	79.4		67.7	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6	69.3	¢	70.4
[関西]マンション契約率(原数値)	74.8		79.4		68.6	70.2	59.6	67.1	72.0		70.0	ļ	73.3
[全国]マンション契約率(季節調整値)	76.1	79.6	76.8	67.1	71.5	80.6	67.3	60.9	72.9		66.0	<del></del>	67.3
[全国]マンション契約率(原数値) [関西]公共工事前払保証額(10億円)	78.7 200.4	83.7 134.6	74.3 103.2	66.0 128.6	68.8 123.0	82.1 85.4	64.8 97.3	58.6 64.4	72.9 80.0		66.4 279.6	}	69.6 172.9
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	6.4	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8			6.2	ģ	-13.7
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,556.4	1,463.2	1,113.2		1,253.0	872.0	808.6	653.5			2,030.1	1,145.3	1,527.8
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6				10.6	\$	-1.8
[関西]建設工事(総合、10億円)	487.0		507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	562.6	531.5	461.9	å	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	5.4 3,727.0	5.2 3,934.5	0.2 4,195.9	-2.4 4,402.8	-2.8 4,642.3	-4.6 4,712.0	-5.2 4,732.5	-6.0 4,611.1	-3.7 4,520.7	-7.4 4,423.7	-1.3 3,589.2	}· • · • · • · • · • · • · • · • · • · •	UN UN
[全国]建設工事(総合、10億円) [全国]建設工事(総合、前年同月比%)	2.5	5.2	4,193.9		2.6	-0.1	-2.1	0.0	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-2.1	-1.2	<u> </u>	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,454.4	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9			1,362.5	فسيسسب سيستسمل	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	3.1	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	-6.4	-5.8	-6.3	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.6	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.2	104.1	98.9		104.1	103.3	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比) [関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	1.7 0.0	0.2 -0.4	-2.3 0.1		1.3 -4.5	-1.5 0.0	-3.0 -3.6	4.9 -7.8	-5.0 -2.1	7.5 -0.3	-0.9 -1.3	<b>{·······</b>	UN UN
[関西] " 在庫指数 (原数値、前年同月比%)	0.0	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.1	1.4	1.1	1.8	2.6	ļ	UN
[関西] "出荷指数(季節調整値、10年=100)	100.0		98.7	100.6	102.1	99.4	98.2	100.7	95.8		101.8	ş	UN
[関西] // 出荷指数(季節調整値、前月比)	1.2	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-0.6	2.5	-4.9	5.9	0.3	-0.6	UN
[関西] " 在庫指数(季節調整値、10年=100)	117.6		118.0		118.1	118.6	117.9	117.9	118.6	119.2	120.2	farmannian (	UN
[関西] "在庫指数(季節調整値、前月比)	0.6		-0.8		-0.4	0.4	-0.3	0.0			0.8	ģ	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100) [全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	98.3 1.1		96.3 -1.2		98.8 1.4	97.9 -0.9	95.9 -1.2	98.3 2.5	93.2 -5.2		97.2 0.5	}	UN UN
[全国] # 出荷指数(原数値、前年同月比%)	1.8		0.6		-0.8	0.0	-1.2 -2.5	-5.4	-3.2 -1.6		-3.4	ļ	UN
[全国] " 在庫指数(原数値、前年同月比%)	4.0		2.1		0.2	0.0	0.0	0.2	-0.9		0.1	0.8	UN
[全国] # 出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.6		95.5		98.8	96.4	94.9	96.8	~~~~~~~~~		96.0	,	UN
[全国] "出荷指数(季節調整値、前月比)	0.6		-0.7		2.1	-2.4	-1.4	2.0	,		1.6	}	UN
[全国] "在庫指数(季節調整値、10年=100) [全国] "在庫指数(季節調整値、前月比)	114.6 1.5		114.0 0.3	~~~~~~	111.4 -1.9	111.9 0.4	(~~~~~~~~~~	<i>{</i>			113.4 -1.7	<i>-</i>	,
(主国)"在单指数(李即調金禮、則月氏) 劳 働	1.5	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.3	-0.2	2.9	-1.7	0.4	UN
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-1.5	0.7	0.7	1.1	-0.6	-0.8	0.7	-0.2	0.5	1.2	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-1.1		0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	-0.3	0.6	1.0	0.4	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-2.5		0.4	~~~~~	0.7	0.0					0.0		UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.0	·	4.3		3.4	3.7	3.7	3.1			4.1	<u> </u>	UN
[関西]完全失業率(原数値) [合国]完合生業束(系統調整体)	3.9	·	4.4 3.4	~~~~~	3.6 3.2	3.4 3.3	,	<del></del>			4.0 3.2	4	UN UN
[全国]完全失業率(季節調整値) [関西]新規求人倍率(季節調整値)	3.4 1.71		3.4 1.74		3.2 1.76	3.3 1.83	;·····	3.2 1.92	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		3.2 2.02	<i></i>	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.79		1.84	~~~~	1.86	1.90	·	·	,		2.02	\$	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.10		1.13	~~~~~~	1.15	1.17	1.19	<i>{</i>			1.26	<i>-</i>	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.19	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	UN
国際貿易					,								
[関西]純輸出(10億円)	134.0		65.0		100.8 1.398.2	-29.3	(	-58.4			223.1	(	223.6
[関西]輸出(10億円) [関西]輸出(前年同月比%)	1,383.4 7.3		1,299.4 2.0		1,398.2 -1.9	1,237.0 -6.5	,	,			1,261.0 -8.8	}~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
[関西]輸入(10億円) [関西]輸入(10億円)	1,249.4				1,297.3	-6.5 1,266.3							<b></b>
[関西]輸入(前年同月比%)	-4.8				-8.8	-5.8		}~~~~~~~~~~~~			-18.1	jananananan	-15.3
注:鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。							·	٠	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				····

注:鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

# Release Calendar for June/July

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
27-Jun	28-Jun	29-Jun 商業動態調査 (5月:速報値) 全国貿易統計 (5月:確速)	30-Jun 全国鉱工業生産指数 (5月:速報値) 新設住宅着工(5月)	1-Jul 求人倍率(5 月) 完全失業率(5 月) 消費動向調査(6 月)
4-Jul	5-Jul	6-Jul	7-Jul 中国工業生産(6月) 中国固定資産投資 (6月) 中国消費小売総額 (6月)	8-Jul 毎月勤労統計 (5月:速報値) 景気ウォッチャー調査 (6月) 近畿鉱工業生産指数 (5月速報) 近畿貿易統計 (4月確報) 近畿貿易統計 (5月確速)
11-Jul	12-Jul	13-Jul 商業動態調査 (5月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (5月:確報値) 中国輸出入 (6月:速報値)	14-Jul マンション契約率 (6月)	15-Jul 公共工事前払保証額 統計(6月)
18-Jul	19-Jul 建設総合統計(5月)	20-Jul	21-Jul	22-Jul 毎月勤労統計 (5月:確報値) 近畿貿易統計 (6月速報)
25-Jul 全国貿易統計 (6 月:速報)	26-Jul 近畿鉱工業生産指数 (5 月確報)	27-Jul	28-Jul 全国貿易統計 (6月:確速)	29-Jul 商業動態調査 (6月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (6月:速報値) 求人倍率(6月) 完全失業率(6月) 新設住宅着工(6月)